

ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
 DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI
 JORNALISTA RESPONSÁVEL TAKAO MIYAGUI
 Rua da Glória, 332 - Liberdade
 CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
 Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeishimbun.jp

関電20人に3億2千万円

八木会長ら報酬減

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。



記者会見の冒頭、謝罪する関西電力の岩根茂樹社長(右)ら=27日午前、大阪市(共同)

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

iPS細胞でミニ多臓器

肝臓、胆管、膵臓が連結

【共同】人の人工多能性幹細胞(iPS細胞)から、肝臓と膵臓が胆管でつながった「ミニ多臓器」を作ることが世界で初めて成功したと、東京医科歯科大学の武部貴則教授らのチームが25日付の英科学誌「ネイチャー(電子版)」に発表した。複雑な立体構造を持つ臓器は難しいとされる。武部教授はこれまでミニ多臓器を作ることが成功しているが「移植後、長期機能させるには、隣り合う組織とつながった臓器が必要」と考え、連結した臓器の研究を進めていた。チームは、肝臓や胆管、膵臓を含む消化器系の臓器は受精後8週間前後

【共同】人の人工多能性幹細胞(iPS細胞)から、肝臓と膵臓が胆管でつながった「ミニ多臓器」を作ることが世界で初めて成功したと、東京医科歯科大学の武部貴則教授らのチームが25日付の英科学誌「ネイチャー(電子版)」に発表した。複雑な立体構造を持つ臓器は難しいとされる。武部教授はこれまでミニ多臓器を作ることが成功しているが「移植後、長期機能させるには、隣り合う組織とつながった臓器が必要」と考え、連結した臓器の研究を進めていた。チームは、肝臓や胆管、膵臓を含む消化器系の臓器は受精後8週間前後

【共同】人の人工多能性幹細胞(iPS細胞)から、肝臓と膵臓が胆管でつながった「ミニ多臓器」を作ることが世界で初めて成功したと、東京医科歯科大学の武部貴則教授らのチームが25日付の英科学誌「ネイチャー(電子版)」に発表した。複雑な立体構造を持つ臓器は難しいとされる。武部教授はこれまでミニ多臓器を作ることが成功しているが「移植後、長期機能させるには、隣り合う組織とつながった臓器が必要」と考え、連結した臓器の研究を進めていた。チームは、肝臓や胆管、膵臓を含む消化器系の臓器は受精後8週間前後

【共同】人の人工多能性幹細胞(iPS細胞)から、肝臓と膵臓が胆管でつながった「ミニ多臓器」を作ることが世界で初めて成功したと、東京医科歯科大学の武部貴則教授らのチームが25日付の英科学誌「ネイチャー(電子版)」に発表した。複雑な立体構造を持つ臓器は難しいとされる。武部教授はこれまでミニ多臓器を作ることが成功しているが「移植後、長期機能させるには、隣り合う組織とつながった臓器が必要」と考え、連結した臓器の研究を進めていた。チームは、肝臓や胆管、膵臓を含む消化器系の臓器は受精後8週間前後

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

【共同】関西電力の八木誠会長(69)や岩根茂樹社長(66)らが2017年までの7年間に、関電高浜原発が立地する福井県高浜町の元助役森山栄治氏(今年3月に90歳で死亡)から、多額の金品を受領していたことが、金沢国税局の税務調査で分かった。岩根社長は27日、臨時の記者会見を開き「深くおわび申し上げる」と謝罪。社内調査を進めた結果、計20人が総額約3億2千万円を受け取っていたことが判明し、自身や八木会長を報酬減の処分にしたと明らかにした。辞任は否定した。

ALFAINTER TURISMO
 Visite nosso site: www.alfainter.com.br
 ENDEREÇO: Rua Galvão Bueno, 33 - Sala 62 - LIBERDADE - CEP.01506-000 - SÃO PAULO - SP

JAPÃO TRADICIONAL 2019
 "Pacote de 17 dias" VIA DUBAI
 ◆05 e 13 de julho
 ◆11 de setembro
 ◆15 e 25 de outubro
 ROTEIRO: Dubai, Tokyo, Hakone, Monte Fuji, Kyoto, Nara, Kyoto, Takayama, Shirakawago, Nagoya, Hiroshima, Miyajima, Osaka e Tokyo

TUNIBRATRAVEL
 renovando e realizando suas viagens!
 End: Praça da Liberdade, 170 (colado ao metrô Japão-Liberdade) - Liberdade - São Paulo
 60ª CONVENÇÃO DE NIKKEI E JAPONESES NO EXTERIOR
 Período: 01 a 03 de outubro de 2019
 Local: Tokyo - Japão
 Para participar da Convenção, consulte-nos, fazemos a inscrição, tiramos o visto e temos as melhores tarifas para o Japão.

TEMPLO XINTOISTA DO BRASIL
南米神宮
 開運招福 沼矛八方被
 Rua Estado de Israel, 76 - Vila Clementino SP
 Tel: (11) 5575-4783 - www.templouxintoista.org.br

多数の判決変わる「L」の最高裁

VZ報道がモロに影響 ルーラの釈放もありえる?

25日(26日)に、最高裁で「ラヴァ・ジャット作戦(LJ)」のこれまでの判決を覆す「審理が行われ、11人の判事10人が票を投じた時点で、7人が「変わる」として優勢となった。これは、LJ担当判事だったセルジオ・モロ法相の判決が優勢となり、LJを支持する。また、この結果によりルーラ元大統領の釈放などが起こりうる。26日付の紙が報じている。

世論の強い反発は必至か

これは、8月27日に最高裁第2小法廷で行われた、元ブラジル銀行頭取で、ペトロブラスの総裁でもあったネブティウ・ベンジニが被告の裁判で、18年3月にパラナ州連邦地裁でモロ判事(当時)が下した判決を無効とした例に基づき、「報復付供述を基にして起訴された」判決に対するLJ裁判の判決は変わるか、と、大法廷で問うものだった。

第2小法廷は、18年3月のベンジニ氏への控訴審で、最終段階で被告が行った最終請求の時間が報復付供述を行った被告に与えられた時間と同じだった(供述者の後の弁明を拒否された)ことを不服とした同被告の訴えを



25日の最高裁での審理の様子 (Rosinei Coutinho/SC/STF)

今回の審理では、第2小法廷での審理の際も報告官をつとめ、最高裁内でのLJ担当判事でもあったエジソン・ファキン判事が「報復付供述者と供述内容を基にして起訴された」被告の弁明時間に差を付すべきだと定めた法律は「不利になる」と反論した。今回の結果は、ルーラ判事が「汚職をした人」に有利になると見られる。世論の強い反発を招きうる。26日の審理直後には、下院のLJ支持勢力が遺憾の意を表した。国民の関心が特に強いのは、アチバヤの別荘関連の裁判が無効化され、ルーラ元大統領が釈放されるか否かだ。

アマゾン火災問題 食肉業者がボイコット危険 違法伐採地の家畜は使わず

【既報関連】伯国政府のアマゾン火災沈黙化への取り組みが不十分だと非難し、伯国産肉品輸入をボイコットする動きが国際的に広まりつつある。伯国主要食肉メーカ、ミネルヴァなどが、大規模な伯国産肉輸入ボイコットに発展しないよう、合同キャンペーンを計画している。27日付エクスタード(E)紙

が報じた。伯国農牧供給省や各企業は既に、サウジアラビア、ドイツ、エジプトから、「伯国肉は、違法な森林伐採で開発された土地で育った家畜を使って生産されたのでは?」という質問を非公式に受けている。

大手食肉輸出企業は、品質や検査体制が一定以上のレベルを保っているかをチェックされ、認証を受けている。しかし、各企業は、アマゾン危機のせいで輸入ボイコットが起きることを恐れている。伯国産肉品輸入業者、国際投資家が資金提供をストップさせることに危険感を持っている。

マルフリゲ社は、2カ月前にグリーンボンドを発行して5億ドルの資金を調達した。グリーンボンドとは環境保護活動に特化した債券で、資金の使用先を、伯国産肉輸出企業(Abiec)は、英フィナンシャル・タイムズ紙、米ニューヨーク・タイムズ紙に全面広告を



パラ州の食肉加工工場 参考画像: Bruno Cetim/AgParal

われ方が厳しくチェックされる。JBSやミネルヴァも同じ手法での資金調達を拒んでいるが、「伯国は環境保護に本腰ではない」というイメージが国際的に広がると、それも難しくなる。

先週、伯国産肉輸出企業(Abiec)は、英フィナンシャル・タイムズ紙、米ニューヨーク・タイムズ紙に全面広告を

いかなる疑問にも答える用意

「メンデス殺して自殺する」

ジャノー元検察長官が衝撃告白

ロドリゴ・ジャノー元検察長官が、任中に最高裁内に銃を携行し、ジャノー・メンデス判事を暗殺して自殺しようとしたことがあったという、衝撃告白を行った。27日付エクスタード紙が報じている。

同紙によると、最高裁が2017年5月に企業

を始めた。しかし、20日には、問題はもっと広範囲で、伯国産肉産物全体にわたって、Abiec単独での広告が取りやめられた。

Abiec幹部のリエジェン・ゲイラ氏は、「畜産業界だけの問題ではない。伯国農業ビジネス協会(Abaga)などと連携し、伯国気候・森林・農業連合の一部として活動している」と語った。

同氏は、食肉輸出業者は外部からのいかなる疑問にも答える用意ができていない」と伝えている。

東西南北

26日の最高裁審理で「ラヴァ・ジャット作戦(LJ)」の判決は変わらざることを示唆する意見が優勢となり、2014年の同作戦開始後に「政界腐敗追及」を訴えていたルーラに大きなショックを与えている。それは即座に遺憾の意を示した下院のLJ支持勢力に、社会自由党(PSL)やノウヴォ

26日、アウグスト・エレーノ大統領府安全保障局長は、先週末発生した全国的な抗議を呼んだ、リオ市のアガタちゃん殺害事件についてボウソナロ大統領が何も語らないことに関し、「あれ

政治的嗜好に関する疑惑の報道を問題視する発言を行っていた。

26日、クルセイロの

ロゼリオ・セニ監督が解雇された。就任からまだ2カ月も満たないが、8試合で、セニが

別に関心があるが、現役を一筋で過ごしたサンパウロFCがクワカ監督を解雇したので、「サンパウロに復帰か?」とも思

われた。結局、クルセイロが行く直前まで率いたフォルタレザに戻ることに

はリオ州の責任だから、ヴァイツェル州知事が答えるべきであり、大統領が何かを言う必要があるわけはない」と答えた。

26日、クルセイロの

別に関心があるが、現役を一筋で過ごしたサンパウロFCがクワカ監督を解雇したので、「サンパウロに復帰か?」とも思

われた。結局、クルセイロが行く直前まで率いたフォルタレザに戻ることに

はリオ州の責任だから、ヴァイツェル州知事が答えるべきであり、大統領が何かを言う必要があるわけはない」と答えた。

26日、クルセイロの

別に関心があるが、現役を一筋で過ごしたサンパウロFCがクワカ監督を解雇したので、「サンパウロに復帰か?」とも思

われた。結局、クルセイロが行く直前まで率いたフォルタレザに戻ることに

はリオ州の責任だから、ヴァイツェル州知事が答えるべきであり、大統領が何かを言う必要があるわけはない」と答えた。

26日、クルセイロの

別に関心があるが、現役を一筋で過ごしたサンパウロFCがクワカ監督を解雇したので、「サンパウロに復帰か?」とも思

われた。結局、クルセイロが行く直前まで率いたフォルタレザに戻ることに

はリオ州の責任だから、ヴァイツェル州知事が答えるべきであり、大統領が何かを言う必要があるわけはない」と答えた。

26日、クルセイロの

別に関心があるが、現役を一筋で過ごしたサンパウロFCがクワカ監督を解雇したので、「サンパウロに復帰か?」とも思

われた。結局、クルセイロが行く直前まで率いたフォルタレザに戻ることに

はリオ州の責任だから、ヴァイツェル州知事が答えるべきであり、大統領が何かを言う必要があるわけはない」と答えた。

を始めた。しかし、20日には、問題はもっと広範囲で、伯国産肉産物全体にわたって、Abiec単独での広告が取りやめられた。

Abiec幹部のリエジェン・ゲイラ氏は、「畜産業界だけの問題ではない。伯国農業ビジネス協会(Abaga)などと連携し、伯国気候・森林・農業連合の一部として活動している」と語った。

同氏は、食肉輸出業者は外部からのいかなる疑問にも答える用意ができていない」と伝えている。

国際派日本人養成講座
伊勢雅臣

吉田調書誤報事件 門田隆将「新聞という病」から

1. 日本人を貶めた朝日新聞の「吉田調書」誤報

「吉田調書」誤報事件は、朝日新聞が平成26(2014)年5月20日から始めた「大ニッパ」で、東日本大震災直後の平成23(2011)年3月15日朝、福島第一原発の東電職員9割が「所長命令に違反」して、「原発から撤退」していた、すなわち「命令に背いて」逃げた、と報じたのである。

2. 「部下たちが朝日の報道によって、逃げたことになりました」

朝日の平成26(2014)年5月20日付けの面記事は、「所長命令に違反、原発撤退、福島第一所員の9割、政府事故調の「吉田調書」入手」と題して、次のように始まる。

3. 朝日の法的措置をちらつかせる抗議書

「朝日新聞の報道は誤報である」と門田氏が最初にブログで発信したのは、平成26(2014)年5月末のことだった。その記事は大きな反響を呼び、様々な所に転載された。そして、「週刊ポスト」の6月9日発売の号に、「朝日新聞「吉田調書」スクープは従軍慰安婦虚報と同じだ」と題した6ページの記事を書いた。一般のメディアが「誤報」と指摘したのは、これが最初だった。

4. 朝日の悪質さにあらためて驚愕

8月に入ってから事態は急展開した。産経新聞が「吉田調書の全文を入手し、門田氏はお話を聞いた」という論評を8月18日付産経紙面に寄稿した。これにも朝日は間髪を容れず、抗議書を送りつけてきた。門田氏は調書を読んだ感想を、次のように記している。

5. 調書公開で、即日謝罪

9月11日に吉田調書が政府によって正式に公開されると、朝日は突然、木村伊量社長の謝罪会見を開いた。その翌日、門田氏は朝日の広報部長から「抗議の前提となっていた記事を取り消しました」と、抗議したこと自体が誤っており、二つの抗議書をいすれも撤回し、心よりお詫言申し上げました。翌日には文書謝罪文も届いた。

6. 「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」

いすれにせよ朝日の悪質な虚報は、門田氏の奮闘で真実が明らかになった。その上で門田氏は読者に根本的な疑問を提示する。「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」と。この疑問に門田氏自身はこう答える。

7. 「福島英雄」とセウオル号の船長たち

ここで思い浮かぶのは、朝日がこの大虚報キャンペーンを始めた1ヶ月ほど前に、韓国でセウオル号沈没事故が起きていることだ。波高わずか1メートルの静かな海面で、暗礁もなく、視界も良好の中で、突然、転覆・沈没して、300名以上の死者を出した大惨事である。事故の原因としては、船が無理に増大され、過剰積載された上で、新人船員の操船ミスがあつたとされている。

8. 「和」を破壊する「嘘」を許してはならない

中国大陸や朝鮮半島には「誣告」という社会伝統がある。虚偽の事実で相手を貶める」という事、韓国で偽証罪が多いのは、この誣告の伝統の現れと考えられている。韓国で2010年に偽証罪で起訴された人は日本の66倍、日本の人口が韓国より2.5倍多いことを勘案すれば165倍に達する。これはもはや文化の違いとしか言いようがない。

9. 朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか

「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」という疑問は、朝日の悪質な虚報が、門田氏の奮闘で真実が明らかになった。その上で門田氏は読者に根本的な疑問を提示する。「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」と。この疑問に門田氏自身はこう答える。

10. 朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか

「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」という疑問は、朝日の悪質な虚報が、門田氏の奮闘で真実が明らかになった。その上で門田氏は読者に根本的な疑問を提示する。「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」と。この疑問に門田氏自身はこう答える。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらえよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。
(ニッケイ新聞編集部)

この事件で、朝日がいかに作為的に「フェイク・ニュース」を作り出すのかという体質が満天下に知れ渡った。その意味で、戦後のマスメディアでも特筆すべき事件だった。今回の「新聞という病」は、直接の当事者である門田氏自身によって、その過程が詳細に描かれてい

「朝日は、なぜ事実をねじ曲げてまで、日本を貶めたいのか」

『日本文化』5巻まで同時購入で
195円が160円に
35%割引!

日本独自の文化や歴史を
日ボ両語で紹介!

日本文化1 RS35.00 日本文化2 RS40.00 日本文化3 RS40.00 日本文化4 RS40.00 日本文化5 RS40.00

ニッケイ新聞人気シリーズ!プレゼントにも!

国際派日本人養成講座
発行人=伊勢雅臣 (文責)
Mail: ise_masaomi@gmail.com
Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi
無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

1. 門田隆将「新聞という病」、産経新聞出版
http://www.amazon.co.jp/asin/4819113674/jpamotheg01-22/

2. 朝日新聞「所長命令に違反、原発撤退、福島第一所員の9割、政府事故調の「吉田調書」入手」との表記あり

3. 日本経済新聞「吉田調書を公開、官房長官「非公開」遺志に反する」平成26年9月11日付け

4. 朝日新聞「虚偽のメモ」記者解雇、朝日新聞総選挙で誤った記事、東京編集局長ら更迭」平成17年8月30日付け

Acordo Comercial (26/09/2019)

Japão e EUA confirmam tratado comercial

O Japão e os Estados Unidos formalizaram um acordo final em suas negociações comerciais bilaterais. Na quarta-feira, em Nova York, o primeiro-ministro japonês Shinzo Abe e o presidente americano Donald Trump assinaram uma declaração conjunta após a confirmação do acordo.

Abe disse: “Quando o acordo entrar em vigor, não há dúvidas de que ele estimulará os investimentos do Japão nos Estados Unidos e contribuirá para

o desenvolvimento dos laços econômicos bilaterais. Eu estou confiante de que o acordo será mutuamente vantajoso para o Japão e os Estados Unidos.”

Trump, por sua vez, declarou: “As tarifas japonesas passarão a ser significativamente mais baixas ou, então, serão totalmente eliminadas para produtos americanos, como carne bovina e suína, trigo, queijo, grãos de milho, vinho e muitos outros. Esta é uma grande vitória para os agricultores, criadores e produ-

tores dos Estados Unidos, e isso é muito importante para mim.”

Sob os termos do acordo, o Japão vai abrir seu mercado para produtos agropecuários dos Estados Unidos até um patamar que não exceda o escopo da Parceria Transpacífica. O lado japonês vai cortar sua tarifa sobre a carne bovina americana dos atuais 38,5%. A taxa cairá finalmente para 9%, sob o acordo. Impostos aduaneiros sobre a carne suína americana também sofre-

ão cortes.

Ambos os lados concordaram em não estabelecer uma cota anual livre de tarifas de até 70 mil toneladas para exportações de arroz dos Estados Unidos para o Japão. Eles continuarão a negociar tarifas sobre automóveis e autopeças. Tóquio quer que Washington as elimine.

A declaração conjunta assinada pelos dois líderes diz que o lado americano vai se abster de impor tarifas adicionais sobre automóveis japoneses importados.

Células iPS (26/09/2019)

Cientistas japoneses produzem múltiplos órgãos ao mesmo tempo com células iPS

Um grupo de pesquisadores japoneses conseguiu produzir múltiplos órgãos simultaneamente utilizando células iPS humanas, também conhecidas como células tronco pluripotentes induzidas.

O grupo, liderado pelo professor Takanori Takebe, da Universidade de Medicina e Odontologia de Tóquio, publicou a pesquisa no periódico científico britânico

Nature na quarta-feira.

Os pesquisadores primeiro cultivaram células iPS, que têm potencial para se desenvolver em qualquer tipo de tecido, até o estágio anterior à formação de órgãos digestivos.

Eles agruparam então as células que se tornaram a parte superior do tubo digestivo junto com aquelas que se tornaram a parte inferior, e cultivaram a com-

bição.

O resultado foi a criação simultânea de um fígado e um pâncreas, e de um duto biliar que os conecta.

Os órgãos medem juntos apenas um centímetro, equivalente ao de fetos de um mês de vida.

Os pesquisadores dizem que foram capazes de confirmar algumas de suas funções, como o fluxo de líquido do fígado para ou-

tros órgãos.

Eles afirmam que se forem capazes de cultivar vasos sanguíneos ao mesmo tempo, os órgãos poderiam ser transplantados para o corpo humano.

Takebe disse que ainda há muitos desafios, mas que espera estar pronto para transplantes dentro de dez anos.

Coreia do Sul (27/09/2019)

Chanceleres do Japão e da Coreia do Sul reiteram suas posições sobre questão do trabalho durante a guerra

O ministro dos Negócios Estrangeiros do Japão, Toshimitsu Motegi, conversou com a chanceler sul-coreana, Kang Kyung-wha, sobre a questão do trabalho nos tempos de guerra e outros assuntos. Contudo, os dois somente reconfirmaram as posições dos seus países já anunciadas anteriormente.

Os ministros se encontraram pela primeira vez por

cerca de 50 minutos em Nova York, na quinta-feira.

Motegi reiterou um pedido para que Seul retifique uma violação da lei internacional concernente à questão de trabalho no tempo de guerra.

Kang transmitiu a posição básica do governo sul-coreano de que respeita as decisões da corte do país.

Motegi expressou esperan-

ças de que as autoridades diplomáticas continuem a se comunicar para resolver a questão do trabalho no tempo de guerra. Por sua vez, Kang respondeu que deseja continuar a manter um bom diálogo.

No ano passado, a suprema corte da Coreia do Sul ordenou companhias japonesas a pagarem indenizações a sul-coreanos que dizem terem sido forçados

a trabalhar para as companhias em questão durante a Segunda Guerra Mundial.

O governo japonês diz que a questão da indenização foi resolvida em um acordo firmado em 1965. Esse acordo estipula que quaisquer disputas devem ser resolvidas através do diálogo, mas, até agora, a Coreia do Sul tem se recusado a se sentar para debater as questões.

Monte Ontake (27/09/2019)

Montanhistas voltam a escalar Monte Ontake 5 anos após erupção

Nesta sexta-feira, completam-se 5 anos desde o desastre vulcânico que provocou o maior número de mortos no período pós-guerra no Japão. O Monte Ontake, na parte central do país, entrou em erupção em 27 de setembro de 2014, deixando 58 mortos e 5 desaparecidos.

Autoridades do vilarejo de

Otaki, na província de Nagano, realizaram uma cerimônia para marcar a ocasião. A área se situa no sopé da montanha.

Neste ano, a localidade de Kiso, na província de Nagano, suspendeu parcialmente restrições de entrada na montanha durante a temporada de escalada no verão, pela primeira vez desde a

erupção, permitindo a chegada até o topo entre julho e meados de outubro.

O vilarejo de Otaki também planeja suspender restrições de entrada, o que deve aumentar ainda mais o número de montanhistas.

Autoridades locais enfrentam o desafio de elaborar medidas de segurança, como a maneira de evacuar

montanhistas rapidamente caso o vulcão entre em erupção novamente.

Outro desafio é a conscientização dessas pessoas sobre o fato de que o vulcão é potencialmente ativo. As autoridades planejam intensificar os esforços para oferecer informações de modo a conscientizar os montanhistas.

Coreia do Sul (25/09/2019)

Japão não convida Coreia do Sul para evento internacional de revista de frota marítima

A marinha da Coreia do Sul não foi convidada para um evento de revista de frota que será realizado no Japão no próximo mês.

A Força Marítima de Autodefesa do Japão divulgou, na terça-feira, um plano para a revista de frota de 14 de outubro, que será realizada na Baía de Sagami,

na província de Kanagawa, perto de Tóquio. A revista acontece em cerca de três a três anos. Representantes de Marinhas estrangeiras são convidados a participar desde 2012.

Os Estados Unidos, Austrália e China estão entre os sete países que vão enviar embarcações e aeronaves

para a edição deste ano. Será a primeira vez que a China participa do evento. A Coreia do Sul participou da última revista de frota, realizada em 2015.

O Chefe do Estado-Maior da Força Marítima de Autodefesa, o almirante Hiroshi Yamamura, disse na terça-feira, que o Ministério

da Defesa e a Força Marítima de Autodefesa do Japão decidiram não convidar a Coreia do Sul. Ele afirmou que os laços entre Japão e Coreia do Sul permanecem bastante estremecidos e que as condições não são propícias para convidar a participação de embarcações sul-coreanas.

NHK WORLD**JAPAN**

Estas notícias são produzidas pela
NHK WORLD-JAPAN.
nhk.jp/portuguese

Imperador Naruhito (27/09/2019)

Arroz é colhido para a cerimônia Daijōsai do imperador Naruhito

Foi colhido arroz em duas localidades do Japão para os preparativos de Daijōsai, ou a Grande Cerimônia de Ações de Graça. A cerimônia, realizada em novembro, será um dos principais eventos para celebrar a ascensão do imperador Naruhito ao trono. O imperador assumiu o trono em maio, após a abdicação do seu pai, o imperador emérito Akihito.

A colheita do cereal foi realizada na sexta-feira em dois arrozais previamente escolhidos: um na província de Tochigi, na parte leste do país, e outro na província de Kyoto, na parte oeste.

No arrozal de Kyoto, um

enviado imperial entrou no local da cerimônia demarcada com cordões de palha de arroz, e ofereceu orações no interior de um santuário improvisado.

Então, o proprietário do arrozal e outros agricultores colheram o arroz com foice. Eles vestiam traje tradicional da corte composto de roupa branca e chapéu negro.

Na cerimônia Daijōsai, que acontecerá em meados de novembro, o imperador Naruhito oferecerá arroz dos dois arrozais aos seus ancestrais e divindades, e ele próprio provará um pouco do arroz para rezar pela paz e colheitas abundantes.

Corrida de tocha olímpica (27/09/2019)

Mais de 500.000 pessoas se candidatam para corrida de tocha olímpica para os jogos de 2020

Os governos regionais de todo o Japão e empresas patrocinadoras receberam mais de 530.000 requerimentos de pessoas que desejam carregar a tocha olímpica dos jogos que serão realizados em Tóquio em 2020.

A corrida terá início na província de Fukushima no dia 26 de março e continuará até o dia 24 de julho, ocasião da cerimônia de abertura da Olimpíada. Cerca de 10.000 corredores deverão tomar parte na corrida de revezamento que será realizada por toda

a nação.

Governos provinciais e quatro companhias patrocinadoras da corrida da tocha olímpica aceitaram inscrições de cidadãos em geral, desde meados de junho a agosto.

Os governos e os patrocinadores vão notificar os candidatos recomendados para a seleção final ao comitê organizador da Olimpíada.

Os candidatos escolhidos serão notificados por e-mail no mês de dezembro deste ano.

Aplicativos gratuitos da**NHK WORLD**

JAPAN

Serviço em português
a qualquer hora em qualquer lugar!

NHK WORLD RADIO JAPAN

*Para iOS e Android



Transmissão ao vivo em português e outros 16 idiomas

Clipes de áudio de últimos noticiários e programas

Aplicativos gratuitos da**NHK WORLD - JAPAN**

TV em inglês em 24 horas

NHK WORLD

*Para iOS, Android e Amazon Fire



外国籍1万9千人が不就学

小中学生相当の子ども

【共同】本来なら小中学校に通う年齢にもかかわらず、国公立校や外国人学校などに通ってない不就学の子どもが全国に計1万9654人いることが27日、文部科学省による初めての調査で分かった。調査対象とした子ども全体の15・8%を占めた。

文科省によると、外国籍の子どもが公立小中学校への就学を希望すれば、国際人権規約などを踏まえて無償で受け入れてくれるが、日本人と違う就学義務はない。不就学の背景にはこうした事情に加え、子どもや保護者が日本語を十分理解できないことや、自治体の支援態勢のばらつきなどがある。調査対象となる不就学の子どもの世話をしている子どもが、調査では、小中学生相当の外国籍の子どもが1人以上いる市区町村が70・4%近くになることも判明。4月の改正入管難民法施行による新たな在留資格の創設で、国内で生活する外国人やその子どもが一層の増加が見込まれており、文科省は調査結果を基に不就学の子どもが学校に通える環境整備を進める。

調査は5、6月、全1741市区町村の教育委員会を通じて実施した。日本国籍との二重国籍を持つ子どもは除き、調査対象としたのは住民基本台帳上で小学生相当が8万7164人、中学生相当が3万6885人の計12万4049人。各教委が学籍簿などに基づき、実際に不就学を確認したのは、8768人。これは、学状況を確認できなかった9886人について、住民基本台帳には登録されていたが学籍簿に名前が無いなどの理由で調査せず、実態がつかめていない。

文科省はこれらを全て合計した1万9654人について、不就学の可能性があるとして判断した。実際には外国人学校などに通う子どもも算入され、都道府県別は東京が最多で7898人。これに

赤間学院改組60周年式典の写真グラフィック



野口総領事と赤間エドソンさんによる記念プレートの除幕式



表彰状を渡す小原彰式典実行委員長と石塚克興元理事長



聖市議会からトレド評議員会長と重道理事長を表彰



表彰状を受け取ったトレド評議員会長と赤峰イルマ校長



式典に参加していたサンパウロ裁縫女学院卒業生の皆さん



現昭子さん(中央)と息子夫婦

断崖から半身、命がけ

紀伊山地・大峰奥駈道修験道の霊山

【共同】命綱のロープが、両肩に掛けられる高さ100メートル以上ある断崖から、上半身をゆつくりと空中へ。紀伊山地の世界遺産・大峰奥駈道の途中にある修験道の霊山、山上ヶ岳(奈良県、1719メートル)で、5時、小雨が降る中、記

者「西の覗」と呼ばれる険しい岩場へ。命綱の片方を山伏の1人が体に取り付け、記者が崖から落ちないように全身で支える。

雨にぬれた岩に腹ばいとなり、下を見下ろす。切り立った崖の下には、不動明王が祭られているという。

山伏ら2人に両足を抱えられ、うつぶせのまま体が徐々にすり落とされていく。灰色の岩、緑の樹海が目飛び込む。頭の中は真っ白。寺の案内人の男性が「親孝行するか、うそはつかないか」と大声で問う。

「はいっ」。声を張り上げると、体はさらに滑り落ちてきた。「生まれ変わったように、死の恐怖。約1分後、ようやく引き上げられた。「この世にいらることに感謝しなさい。その言葉に、へなへなと座り込んでしまった。

これは、命を絶つ覚悟で行う仏教の「捨身行」。己の業を問いただき、ざんげする修行なのだ。

▽再生

主催するのは、和歌山の那智山を拠点とする修験道グループ「熊野修験道」。同県那智勝浦町の青岸渡寺から奈良県吉野の金峯山寺に至る10キロ以上の「修験道」のうち、今回は釈迦ヶ岳(奈良県)から金峯山寺まで約50キロを2泊3日で踏破した。

学校入学前に就学案内を送っていただけなかった。日本語を理解できない保護者や子どもも含まれている。1万5000人以上の自治体でも記載が日本語のみなど、対応がばらつきがあった。

神奈川の2288人、愛知の1846人、千葉の1467人、大阪の1457人が続いた。外国人の子どもが1人以上いたのは1196市区町村で68・7%。全区町村の1を占める649市区町村は、外国籍の子どもがいる家庭に小

山伏ら2人に両足を抱えられ、うつぶせのまま体が徐々にすり落とされていく。灰色の岩、緑の樹海が目飛び込む。頭の中は真っ白。寺の案内人の男性が「親孝行するか、うそはつかないか」と大声で問う。

「はいっ」。声を張り上げると、体はさらに滑り落ちてきた。「生まれ変わったように、死の恐怖。約1分後、ようやく引き上げられた。「この世にいらることに感謝しなさい。その言葉に、へなへなと座り込んでしまった。

これは、命を絶つ覚悟で行う仏教の「捨身行」。己の業を問いただき、ざんげする修行なのだ。

▽再生

主催するのは、和歌山の那智山を拠点とする修験道グループ「熊野修験道」。同県那智勝浦町の青岸渡寺から奈良県吉野の金峯山寺に至る10キロ以上の「修験道」のうち、今回は釈迦ヶ岳(奈良県)から金峯山寺まで約50キロを2泊3日で踏破した。

【共同】85年前の室戸台風に壊滅した多数の死者が犠牲になつた公立ハンセン病療養所「外島保健院」(大阪市淀川区)の歴史保存に取り組み、兵庫県尼崎市で開かれた。後身施設に当たる国立ハンセン病療養所「邑久光明園」(岡山県瀬戸内市)の入所者自治会が外島保健院の跡地近くに建てた記念碑を後世にどう残すか議論した。

記念碑は1997年に建てられたが、海に近い工業団地のなかで、地元でも知る人が少ない。外島保健院は近畿や北陸のハンセン病患者の収容を目的に開設された。

【共同】85年前の室戸台風に壊滅した多数の死者が犠牲になつた公立ハンセン病療養所「外島保健院」(大阪市淀川区)の歴史保存に取り組み、兵庫県尼崎市で開かれた。後身施設に当たる国立ハンセン病療養所「邑久光明園」(岡山県瀬戸内市)の入所者自治会が外島保健院の跡地近くに建てた記念碑を後世にどう残すか議論した。

記念碑は1997年に建てられたが、海に近い工業団地のなかで、地元でも知る人が少ない。外島保健院は近畿や北陸のハンセン病患者の収容を目的に開設された。

サンパウロ日伯視聴協会

日伯友好病院

ENKYO

Hospital Nipo-Brasileiro

日本語で対応します。お忙しい方にも最適な半日コースの人間ドックを提供しています。

サービス

- ・人間ドック
- ・25分野の診療
- ・各種専門科の検査
- ・歯科
- ・リハビリ
- ・鍼灸
- ・言語聴覚療法

各種健康保険を取り扱っています。

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は、真心を込めた医療をあなたへお届けします。

24時救急対応

- ・成人内科
- ・心臓外科
- ・外傷センター
- ・産婦人科
- ・脳神経外科
- ・整形外科
- ・小児科

診療所 40を超える専門分野の診療を提供

Rua Pistola, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo
Tel.: 11 2633-2200 - www.hospitalnipo.org.br

サンパウロ日伯視聴協会

リベルダーデ医療センター

ENKYO

日本語で対応します。お忙しい方にも最適な半日コースの人間ドックを提供しています。

サービス

- ・人間ドック
- ・25分野の診療
- ・各種専門科の検査
- ・歯科
- ・リハビリ
- ・鍼灸
- ・言語聴覚療法

各種健康保険を取り扱っています。

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は、真心を込めた医療をあなたへお届けします。

24時救急対応

- ・成人内科
- ・心臓外科
- ・外傷センター
- ・産婦人科
- ・脳神経外科
- ・整形外科
- ・小児科

診療所 40を超える専門分野の診療を提供

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo
Tel.: 11 3274-6555 - www.enkyo.org.br

プロポリス専門店

ムラサン健康食品

MURASAN PRODUTOS NATURAIS

プロポリス 有名ブランド各種 電石けん アサイーベリー 健康食品その他

Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP
Tel./Fax: (11) 3207-4490 - www.murasankenko.com.br
(日本への発送もしております)

a kenko hirose

健康食品

プロポリス・アガリクス専門店

日本への発送もしております。

Rua Barão de Iguape, 208 - Liberdade - São Paulo
(パロン・デ・イグアッペ街とガルボン・フェノ街の角)
Tel.: (11) 3271-5608 - Fax: (11) 3271-5716
E-mail: kenkohirose@uol.com.br

NEOVISIE Oftalmologia

中野眼科 ブラジル眼科学会認定の眼科専門医

白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術

CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER

日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。

Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

中野まゆみ院長

PERFUMARIA TAKEO

たけお店

化粧品専門

二九四一九三三

年金 (INPS) 受取りの 手続きをいたします

Fazemos Aposentadoria

Fones: 3208-7803 / 3341-7308

プロポリス専門店

ムラサン健康食品

MURASAN PRODUTOS NATURAIS

プロポリス 有名ブランド各種 電石けん アサイーベリー 健康食品その他

Rua Galvão Bueno, 364 - box 3 - Liberdade - SP
Tel./Fax: (11) 3207-4490 - www.murasankenko.com.br
(日本への発送もしております)

NEOVISIE Oftalmologia

中野眼科 ブラジル眼科学会認定の眼科専門医

白内障・緑内障・糖尿病や高血圧に対しての網膜病、レーザー光線での近視・遠視・乱視の手術

CIRURGIA de CATARATA, GLAUCOMA, TRATAMENTO de DOENÇAS da RETINA, CIRURGIA a LASER

日本語が通じて安心出来るスタッフが対応します。

Rua Machado Bittencourt, 205 Cj. 93 Vila Mariana
METRÔ STA. CRUZ 駅より徒歩約2分です。

中野まゆみ院長

